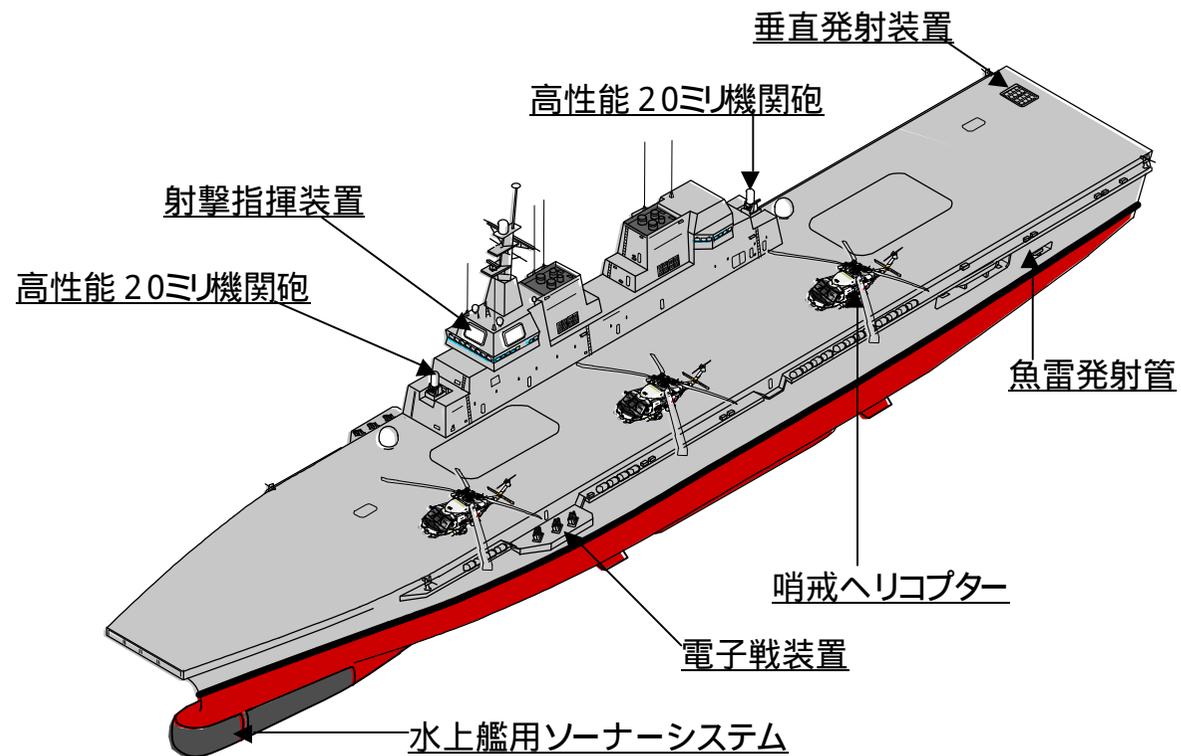


## 参 考 資 料

- 別紙第1 護衛艦(16DDH)の概要図
- 別紙第2 主要性能対比
- 別紙第3 基幹部隊の見直し及び主要事業(海上自衛隊)

# 16DDHの概要図



護衛艦(16DDH)主要性能対比表

項 目		1 6 D D H	は る な 型
艦船の種別		護衛艦(13,500トン型)	護衛艦(4,700トン型)
速 力		30ノット以上	30ノット以上
機関形式(軸数)		COGAG(2)	タービン(2)
主 要 装 備	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">                     砲 ミサイル 水雷                 </div>	高性能20ミリ機関砲 2基	高性能20ミリ機関砲 2基
		VLS装置 (短SAM アスロック兼用) 1式	短SAM装置 1式
		水上発射管 2基	54口径5インチ単装速射砲 アスロック装置 2基 水上発射管 1式 2基
(射撃指揮装置)		FCS-3改(対空レーダー機能を含む)	FCS-2
(情 報)		対水上レーダー 1基 水上艦用ソナーシステム 1式  電子戦装置 1式 情報処理装置 1式	対空レーダー 1基 対水上レーダー 1基 航海用レーダー 1基 ソナー 1式  ソノブイ信号処理装置 1式 電子戦装置 1式 情報処理装置 1式
航 空		哨戒ヘリコプター 3機 (掃海・輸送ヘリコプター 1機)(注)	哨戒ヘリコプター 3機

(注) 必要に応じて搭載される。

## 基幹部隊の見直し及び主要事業（海上自衛隊）

区 分		防衛大綱水準	前中期防完成時 (12年度完成時)	中期防完成時	中期防における主要事業	
海上自衛隊	基幹部隊	護衛艦部隊（機動運用） 護衛艦部隊（地方隊） 潜水艦部隊 掃海部隊 陸上哨戒機部隊	4個護衛隊群 7個隊 6個隊 1個掃海隊群 13個隊	4個護衛隊群 8個隊 6個隊 1個掃海隊群 13個隊	4個護衛隊群 7個隊 6個隊 1個掃海隊群 13個隊	・1個護衛隊を廃止
	主要装備	護衛艦 潜水艦 作戦用航空機	約50隻 16隻 約170隻	53隻 16隻 約170機	52隻 16隻 約170機	護衛艦 5隻を整備 潜水艦 5隻を整備 SH-60J及びSH-60J改 39機、 新掃海 輸送ヘリコプター 2機を整備

この他、中期防では、その他の自衛艦15隻を整備。

## 中期防衛力整備計画（平成13年度～平成17年度）（抜粋）

## 2 周辺海域の防衛能力及び海上交通の安全確保能力

- (1) 艦艇については、護衛艦、潜水艦、掃海艇、ミサイル艇等を建造する。護衛艦の建造に当たっては、護衛艦部隊全般の効率的な在り方に留意しつつ、更新近代化を推進することとし、特に、ミサイル護衛艦（DDG）については対空能力の充実を図るとともに、ヘリコプター搭載護衛艦（DDH）については指揮通信機能及びヘリコプター運用能力等の充実を図る。
- (2) 航空機については、現有の固定翼哨戒機（P-3C）の能力向上のための改修を引き続き行うとともに、哨戒ヘリコプター（SH-60J及びSH-60J改）及び新掃海輸送ヘリコプターを整備する。